

生涯教育基本研修（初級編）

2024年10月26日（日）10時00分から16時30分（名古屋会議室 名古屋駅前店第2会議室）

- 1)はじめに
- 2)講義・グループワーク「研究の意義と研究計画の作り方」
- 3)パソコン演習「データのまとめ方と統計処理」

1)では、研修会参加者23名に対して、生涯教育委員長の後藤千穂から研修会開催にあたっての挨拶が行われ、日本栄養改善学会東海支部会との合同研修会であることやその目的・意義について説明がありました。

2)の講師は名古屋文理大学の北川絵里奈先生で、実践研究の意義や研究計画立案の流れについて段階的に学びました。講義では、参加者が自身のリサーチクエスチョン（RQ）、研究デザイン、研究結果の予測を考えるワークが随時行われ、理解を深める機会となりました。また、文献検索の方法や研究倫理、利益相反についても詳しい説明がありました。最後に、参加者と講師がグループに分かれ、ワークを基にそれぞれのRQや研究デザインについてディスカッションし、情報を共有する場を設けました。



3)の講師は愛知学泉大学の上島寛之先生で、無料統計ソフト「EZR」を使用し、実際に操作を通して学習を進めました。まず、ソフトの起動から始め、画面構成の説明、データの読み込み方法、変数の作成や変更、データの保存、ソフトの終了といった基本操作を習得しました。その後、サンプルデータを用いてヒストグラムや散布図を作成し、グラフの色や軸の尺度を調整するなど、視覚的な表現方法についても学びました。さらに、相関係数の検定や対応のある t 検定といった統計的な分析手法についても取り組み、基本的な統計処理の流れを理解しました。



研修会終了後に実施した参加者へのアンケートにおいて、研修会の内容や時間について 95%の方から「満足」・「どちらかと言えば満足」の評価をいただきました。次回 11/30(土)には「論文の読み方」や「抄録の書き方」、「発表スライドの作り方」について講義と演習を実施する予定です。

(文責 生涯教育基本研修 講師一同)